



研修名	令和2年度 精神保健福祉実務者研修 「 うつ病・コロナうつと心のケア 」
講師	九州大学病院 精神科神経科 講師 加藤 隆弘 氏 テクニカルスタッフ 浦田 裕美 氏
開催日時	令和2年11月6日(金) 18:30~20:30
開催場所	北九州市総合保健福祉センター(アシスト21) 2階講堂
参加者数	33名 (内訳:看護師、臨床心理士、保健師、精神保健福祉士、行政職員など)
研修の内容等	<p>精神保健福祉業務に携わっている方を対象に、相談支援技術の向上を図ることを目的とした研修を開催しました。</p> <p>「うつ病・コロナうつと心のケア」というテーマで九州大学病院講師の加藤隆弘先生にご講義いただき、テクニカルスタッフの浦田裕美先生にロールプレイ演習を行っていただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> 精神科で日頃から相談を受ける機会がありますが、一般の方に疾患や対応についてどう伝えたらいいか、メンタルヘルス・ファーストエイドの考え方がとても参考になりました。 今回の研修を通して、相手に安心感をもってもらえる話し方を考え、学べたと思います。日々の業務の対応でも本日学んだことを振り返りながら、患者さんが安心できるような対応ができるよう心がけたいです。 ファーストエイドについては本研修を通じて初めてふれる機会となり、大変役に立ちました。また改めて、距離感、場所、人、声かけなど日頃の相談業務の中で大切なものがあるが、なかなか振り返りをすることが出来ず、講義を通じてふりかえりの機会となりました。 相談員をしていますが、最近体調が悪いが医療機関をしても悪い病気はないと言われる、どこへ受診すればいいか、どうしたら診断してもらえるか、と悩まれている方が多くなったと思います。コロナの影響を感じます。今回の研修を今後の相談にいかしていきたいです。